

運営管理機関連絡協議会 確定拠出年金統計資料(2018/3末基準)のポイント

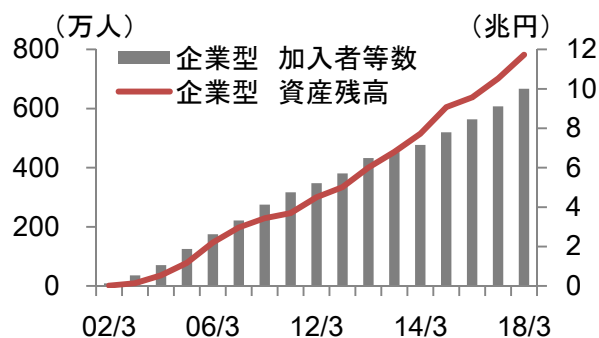
確定拠出年金(以下、「DC」)は2001年10月の制度発足から加入者等数や資産残高が順調に推移しています。特に顕著な伸びを示したのは、2017年1月に加入対象が大幅拡大したiDeCo(個人型DC)の加入者数です。また、資産配分状況については、市場環境が好調であったこともあり、徐々に「貯蓄から資産形成へ」と割合が変化しています。

企業型DCの加入者等数・資産残高等

企業型DCにおける加入者等数は順調に推移し、2018年3月末で650万人となっており、共済組合員を除く第2号被保険者数(3,821万人)¹のうち既に6人に1人が、企業型DCに加入していることとなります。

資産残高は、11.7兆円となっており、同様に順調な推移を示しています。

図表1 企業型の加入者等数および資産残高推移



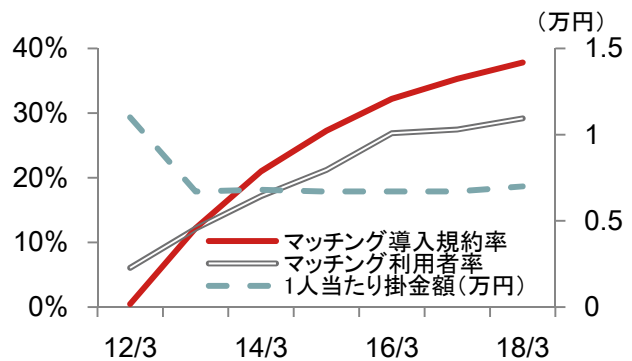
(出所) 運営管理機関連絡協議会 確定拠出年金統計資料(2018/3末基準)(以下、「DC統計資料」)

¹ 第20回社会保障審議会企業年金部会「参考資料2」から引用

マッチング拠出の利用状況

2012年1月より制度開始のマッチング拠出の利用者数は85万人まで到達しているものの、利用率(マッチング利用者を同制度利用可能なプランの加入者数で除した率)は3割に満たず、また、平均マッチング拠出額は2013年以来、月7千円程度で停滞しています。

図表2 企業型のマッチング利用状況



(出所) DC統計資料

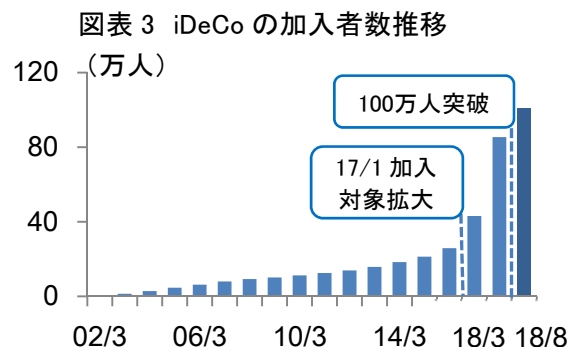
これらの要因はマッチング掛金の制約(事業主掛金の範囲内)や拠出限度額の低さが大きな要因のひとつと思われます。

今後一層増大する自助努力による老後の資産形成の必要性を勘案すれば、これらの制度改

善が望まれるところです。

iDeCoの加入者数

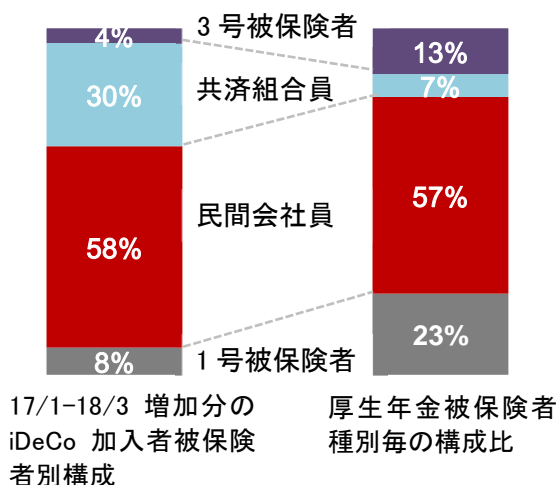
iDeCoにおいては、18/3末で加入者数が87万人(前年同期比+92.2%)と大幅増加し、さらに18/8には100万人を突破しました。



(出所) DC 統計及び国基連 iDeCo 公式サイト「加入等の状況」より野村證券作成

これは、17/1のiDeCo加入対象大幅拡大によるものであり、特に増加分の約3割が新規で加入可能となった共済組合員で占められています。共済組合員の被保険者における構成比率は7%ですから、iDeCo加入意向の高さが伺えます。

図表 4 17/1-18/3 における iDeCo の被保険者別の増加状況と厚生年金被保険者の構成比



(出所) 国基連 iDeCo 公式サイト「加入等の状況」及び第 20 回企業年金部会資料より野村證券作成

iDeCo加入者の拠出状況

被保険者種別毎の月平均掛金額を見ると、17/1より加入可能となった「企業年金のある民間会社員」と「共済組合員」が共に拠出限度額に近い金額となっており、制度を理解している人たちが能動的に加入しているものと推察されます。

図表 5 iDeCo 加入者の月平均掛金と拠出限度額

	月平均掛金	拠出限度額
1号被保険者	27,411 円	68,000 円 ¹
民間会社員 (企業年金なし)	16,177 円	23,000 円 ² 20,000 円 ³
民間会社員 (企業年金あり)	10,610 円	12,000 円
共済組合員	11,005 円	12,000 円
3号被保険者	15,525 円	23,000 円

(出所) 国基連 iDeCo 公式サイト「加入等の状況」
(2018年11月時点)

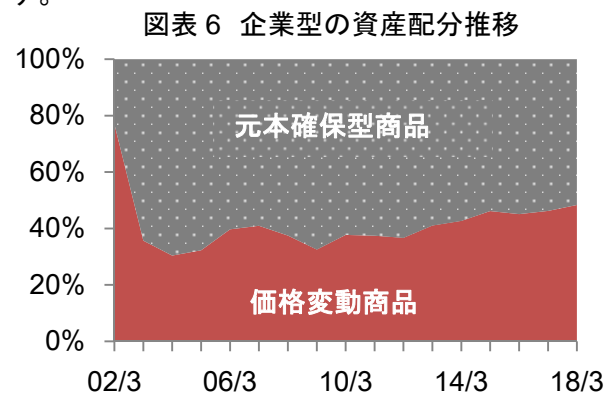
(注)1 国民年金基金との合算

(注)2 企業年金(DB、DC)を導入していない企業の加入者

(注)3 企業年金のうち企業型 DC のみ導入し並行加入可能と定めているプランの加入者

資産配分の状況

企業型の資産配分は、市場環境の好調さや継続教育の好影響もあり、価格変動商品への配分割合が概ね緩やかな右肩上がりとなっています。

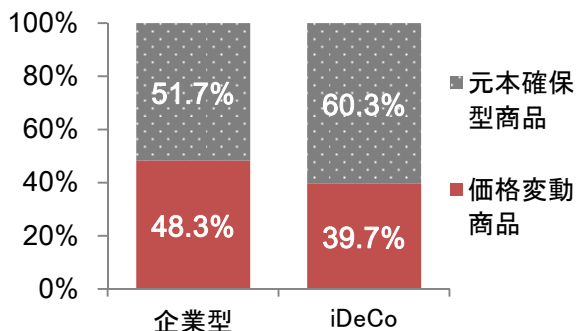


(出所) DC 統計資料

このレポートは、年金基金運営および企業財務業務の参考となる情報の提供を目的としたもので、これらに関する特定の戦略や手法をご提言するために作成したものではありません。年金基金運営および企業財務業務はご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、野村證券および野村グループ各社から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券、野村資本市場研究所に帰属しており、電子的または機械的方法を問わず、またいかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

企業型とiDeCoにおける資産配分を比較すると、元本確保型商品：価格変動商品は各々51.7%：48.3%と60.3%：39.7%となっており、iDeCoの方が保守的な配分となっています。

図表6 企業型とiDeCoの資産配分状況

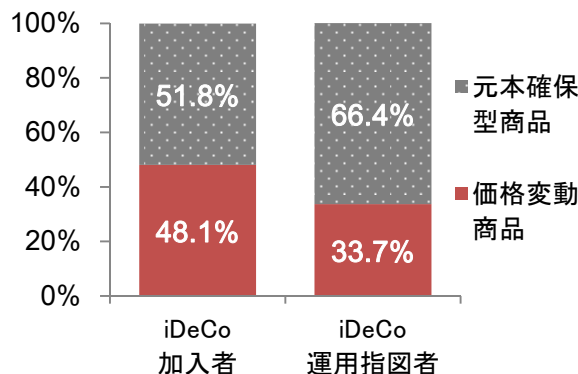


(出所) DC統計資料

iDeCoの内訳をみると、iDeCo加入者では企業型と同じような配分比率となっており、半数弱が価格変動商品へ配分されています。

一方、iDeCo運用指図者(拠出を行わず既存のDC資産のみを運用する者)では、1/3しか価格変動商品に配分されていません。

図表7 iDeCo加入者と運用指図者の資産配分



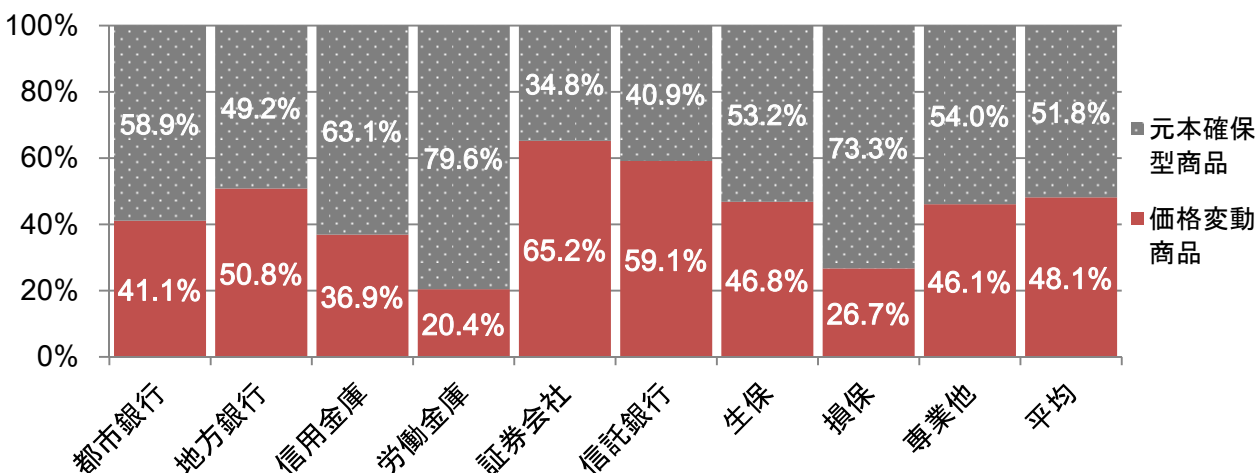
(出所) 国基連「iDeCo(個人型確定拠出年金)の制度の概況」(平成30年3月末現在)

また、運営管理機関の業態別における資産配分比率は、かなり大きな差が見受けられます。

証券会社の場合、元本確保型商品：価格変動商品の比率は、34.8%：65.2%と約2/3が投資へ向かっているのに対し、都市銀行では58.9%：41.1%と約6割は元本確保型商品で構成されており、労働金庫に至っては79.6%：20.4%と、約8割が元本確保型商品で構成されています。

老後の資産形成に投資が欠かせなくなってきた今日において、証券会社の役割がますます大きくなってきていることの証左とも受け止められる数値となっています。

図表8 個人型運営管理機関の業態別の資産配分状況 (加入者)



(出所) 国基連「iDeCo(個人型確定拠出年金)の制度の概況」(平成30年3月末現在)より野村證券作成

このレポートは、年金基金運用および企業財務業務の参考となる情報の提供を目的としたもので、これらに関する特定の戦略や手法をご提言するために作成したものではありません。年金基金運用および企業財務業務はご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、野村證券および野村グループ各社から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村證券、野村資本市場研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、またいかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

— 次号のお知らせ —

次号は

2月25日(月)

発行予定です。

野村証券からのお知らせ

当社で取り扱う商品等へのご投資には、各商品等に所定の手数料等(国内株式取引の場合は約定代金に対して最大1.404%(税込み)(20万円以下の場合、2,808円(税込み))の売買手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された購入時手数料(換金時手数料)および運用管理費用(信託報酬)等の諸経費、等)をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

野村証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

弊誌の記事はバックナンバーも含めて野村年金マネジメント研究会のホームページでご覧頂けます。当ホームページは、年金スポンサー限定のサービスとなっております。ご利用を希望される方は、次のURLにてご登録をお願い致します。

<http://nenkin.nomura.co.jp>

編集:野村証券フィデューシャリー・サービス研究センター、野村資本市場研究所

発行:野村証券フィデューシャリー・サービス研究センター(野村年金マネジメント研究会事務局)

〒100-8130 東京都千代田区大手町2-2-2
アーバンネット大手町ビル

TEL: 03 (6703) 3991 FAX: 03 (6703) 3981

Email: nenkin@jp.nomura.com

このレポートは、年金基金運営および企業財務業務の参考となる情報の提供を目的としたもので、これらに関する特定の戦略や手法をご提言するために作成したものではありません。年金基金運営および企業財務業務はご自身の判断でなさるようお願いいたします。このレポートは、野村証券および野村グループ各社から直接提供するという方法でのみ配布しております。提供されたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は野村証券、野村資本市場研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、またいかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。